

畑に入らないで！

「ジャガイモシストセンチュウ」の 侵入・まん延防止にご協力を！

ジャガイモシストセンチュウは、道内で発生地域が拡大しており、町内でも発生が確認されました。

■ジャガイモシストセンチュウとは？

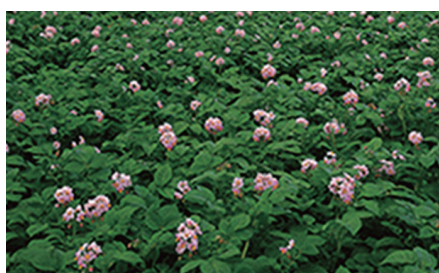
ジャガイモシストセンチュウは、土の中に存在する害虫で、ジャガイモの根から養分を吸収し、収穫量を減少させてしまい、一度畑に侵入してしまうと、根絶させることは困難で、ジャガイモ生産農家にとっては、大きな問題です。

ジャガイモシストセンチュウは、根の中に侵入しますが、イモに付着することではなく、人が食べても人体への影響はありません。



* 根に付着したシスト
(卵の入った袋)

写真提供：中央農業試験場



■ジャガイモシストセンチュウが 畑に侵入する原因は？

主な原因は、発生地域から靴や自動車のタイヤに付着した土に混入して運ばれるなど、人為的な侵入が考えられます。

■侵入・まん延を防ぐには？

- (1) 山菜採りやドライブなどで訪れた場合は、畑の中に立ち入ったり、自動車を乗入れたりしないでください。
- (2) 家庭菜園でジャガイモを植えるときは、正規に販売されている種イモを使用してください。

■ジャガイモシストセンチュウはなぜ厄介者？

ジャガイモシストセンチュウは、ジャガイモの根から分泌される物質に反応してふ化します。シスト（卵の入った袋）の中には200個以上の卵が入っており、乾燥や温度変化に強く、シストの状態で20年以上生存する場合もあり、非常に厄介な害虫です。

ジャガイモシストセンチュウの侵入・まん延防止への対応として、町では「ジャガイモシストセンチュウ対策協議会」を設置し、関係機関・団体が連携して防除対策に取り組んでいます。

【問合先】 長沼町ジャガイモシストセンチュウ対策協議会

事務局：役場農政係（☎ 88-2111 内線 313）、J Aながぬま園芸蔬菜課（☎ 88-2223）